

For Adult



僕の彼女はセーラー戦士3

キヤーー!

ば…化け物?
助けてえっ!

どうやら
敵が姿を
現したようね

まさかこんな
人目につく場所で
暴れてくるとはな…

行きましようー!

見て!
セーラー
ウラヌスよ!

えっ…
本物なの?

ウラヌス様♡

まずいな…人が
集まってきてる…

キヤー
ウラヌス様あ♡

人気者は
辛いわね…

えっ…
セーラー戦士?

セーラー
ネプチューンも
いるわ!

ここに敵を
誘い込むのは無理ね
さあ…あちらへ

皆さん
ここは危険です!

えっ…
セーラー
ブルート!

すげー…
これが本物か…

やべ…今日
カメラ持ってねえ…

みんなすごい
人気なのね…

あ…あのっ…
私も一緒にっ!

いや…サターンは
そこでその人達の
警護に当たってくれ…
頼んだぞ!

はい…!



皆さん…落ち着いて！
私の後ろに
退がってください！

戦いはチームワーク…
私はここで
頑張らないと…！

あちらは大変
危険です！



……

待って！
行かないで
ネプチューン♡

あーん！
ウラヌス様♡

うおーフルート！
手袋！
黒ブーツ！

って…もう
誰もいないし…



この場所から
移動しないで
ください！

は…

はあ...

こんな時...たまに
思うのですが

何だか私って
人気がないような
気がします...



この前もおもちや屋さんで
セーラーサターンのお人形だけ
ワゴンセールになってるのを
見てしまいましたし...

勿論...人気さえあれば
いいという訳では
ないと思うのですが...

私も...頑張ってるつもりなので
ちよっとだけ寂しくなったりします...



.....



あ…あの…
セーラーサターン
………?

良かった…
やっぱり本物だ…



えっ…
この人は…?



あなた…
私のこと
知ってるんですか?

どうして
私の事なんか…

夢みただ
こうして…本当に
会えるなんて…

勿論知ってますよ
僕…ずっと前から
セーラーサターンの
ファンなんです

………!

………

よかったら…その…
握手…して
くださいますか？

…はい！

サターン…

お手紙…
私になるの？

あの…これ
僕が書きました

いつか…サターンに
渡せたらと思って…

それじゃ…
僕は…これで…

頑張つて
下さい…！

あ…ありがとう
………

HOTARU

.....

セーラーサターンへ
.....

アハハハ...

僕はあなたが
戦っている所を
見た事があります

ひと目見たその瞬間から
僕にとつてのセーラー戦士は
セーラーサターン
ただ一人になりました

僕はいつでも...
いつまでもあなたを
応援しています

知らなかったわ…
ずっと私を見守って
くれる人がいたなんて…

私…どうすれば
いいのかしら…

そうだわ…
みちるママに…

んん…
んん…

ああっ…!

ギシッ

あら…悪い子ね
こんなにして…♥

ああっ…!

ギャラリィに
戦いを見られると
興奮するなんて…♥

あの人達が知ったら
どう思うかしら?

やつ…ああっ
そんなの
知らな…あっ…♥

はあ…

ギシッ

ギシッ



あら…
何かご用？



あつ…♥
ああんっ！

んふっ…♥

ラブキス

ラブキス

ラブキス

ほっ



あつ…あのっ！
みちるママ…！
私…！

困った子ね…
どうしたの？

ほたるっ…？

み…
見るなっ…！



はるかパパも...その...
女の子だし...この先
どうなるかだって
分からないのに...

みみ...
見ないでくれ
.....っ

ほたるっ...

カタカタ...

はあ...

はあ...

カタカタ...

あ...

ああ...



そうね...

それは
愛されて
いるからよ

ふっ...



あの...
みちるママは
どうして...

はるかパパと
そうやって
一緒にいるの？



愛を受けたら
同じく愛で
応えなければ...

それが...当然の
務めなの...

グイッ
グイッ
グイッ

あん...

グイッ
グイッ
グイッ

グイッ
グイッ
グイッ

あああつ!

ビックリ

そして…誠意は
行動で示すものよ

ありがとう
みちるママ

それじゃ…

キラリは
一人だったのに…
こんなに感じてるの？

んっ…くっ…
あああっ…
♡

いいわ♡
続き…しましょ？

……ふっふっ♡

ほんとに
いけない子ね…

うああっ…!

クワッ♡

マクッ♡
マクッ♡

キッ♡



あったわ……!



えーと……
この住所の
建物は……と

ここに
あの人がいるのね……



ド
キ
ン……



ち
た
……



誰?こんな
時間に……っ!



あの……夜分遅く
すみません……

セーラーサターン
?!

本当にすみません…
こんな夜中に突然…

あの…この姿では
目立ちますから

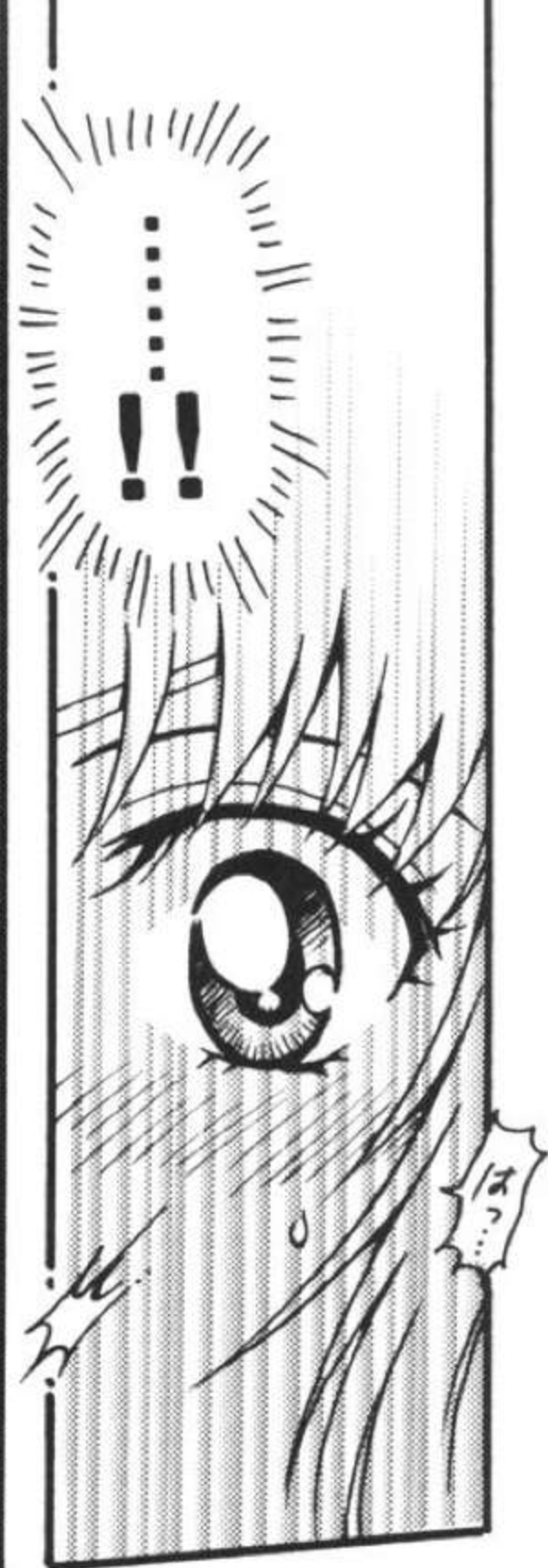
お部屋に入れて
下さいませんか？

……えっ?!

♪

お邪魔します

あつ…待って
その部屋はっ!



手紙にも書きましたけど
僕はセーラーサターンが
一番好きで…

ほかの
セーラー戦士は
目に入らないんです

あ…すみません
ちよつとお茶
持ってきますね

あら？
本がいつばい…

こんな…こと
かして欲しいの
かしら…?!

私…こんなに
想われていたなんて…



何だか...まだ信じられないです

こんな...一般人の所に本当にセーラーサターンが来てくれるなんて...

いただきます

嬉しかったんですとても.....

私をずっと見守っているって伝えてくださったあなたの気持ちが...

本当にありがとうございます...

あつ...サターンの手が僕につ...!!

あの…あなたは
本当にそういう事
…したいんですか？

私と…その
本みたいな事を…

み…
見たんですか
それをつ…？

すみませんっ
……！

あなたの
下さった愛に…
私も愛を
お返しします

いいんです
謝らないで…

私…今日は
あなたの気持ちに
応えるために
来たんですもの…

えっ…?!

どうぞ…私を
お好きなように♡

本当…ですか？
こうして一緒に
いられるだけでも
夢みたいなのに…！

ふふっ…嬉しいです♥
そんなに私を
喜んで頂けるなんて…

そ…それなら
………

さ…触らせて
頂けませんか？
セーラーズーツに…

は…♥

ああ…すごいっ
こんなに滑らかで
張りのある生地が…

あっ…！

サターンの戦士の
身体をびつたりと
包み込んで…！

キッ

ん…

スレッ



これが本物の
セーラーズーツ…

きやつ！

いつも…この姿で
戦ってるんですね…



恥ずかしい…
いつものセーラー
ズーツなのに…

こんな…ふうに見つめられると…

はあ

はあ

あ…

ア…



あの…ブーツを
脱いでみて
もらえませんか？

えっ…？



どうぞ…もっと
見て下さい
私の姿を…♥

でも…
この人の望みは
叶えてあげたいの

ア…





んっ

あっ...♡
このおま...

私の
セーラーズ姿で
こんなになんて...?



んっ?

すみません...
憧れのサターンに
触れられるのが
嬉しくて...ついっ...

許してねえ...



きゃっ...

い...いいんです
あなたは何も
しなくても...っ

はあっ

僕は...サターンが
ただ目の前に
いてくれるだけで...!

はあっ



あの...♡
私が...

んっ

んっ...んっ...んっ...

んっ…くうっ
気持ちいい…っ
!!

はぁっ

ズリ
ズリ

はぁっ

あんっ…!

グ
イ
ッ

あ…ああっ
イイですっ…
セーラーズーツの
この感触っ…!!

ズリ
ズリ

ズリ
ズリ

きもちいい
ですっ!!

ずっと…前から
大好きでした
セーラーサターン…

こんなに愛して
もらえるなんて…♡

はぁっ

ズリ
ズリ

はぁっ

ずっじゅ…

はぁっ

ズリ
ズリ

あの…私と…して
くれませんか？

その本…
みたいな事

セーラー
サターン…？

はじめは…
こう…すれば
いいんですよ？

うあぁっ…！

あつ…まさか憧れの
サターンのグローブで
して…もらえるなんて
……っ！

よかった…
喜んでくれてる♡

くっ…あぁっ！
気持ちいいですっ♡

サターンの
可愛い舌が僕に
絡みついてっ…

あつ…いいっ
気持ちいいですっ…

420
420

420

420

420
420

420
420

く…苦しい…
こんなに大きくなって
喉の奥に当たってる…

でも…もつと
気持ちよく
してあげたい…♡

420
420

420

420

420

うああつ…!

えっ…
どうして?

420
420

あ…あああつ!
もう…ダメですっ
離れて…っ!

ああ

すみません…！
すごく
気持ちよくて…

どうして
謝るんですか？

私も…きもち
よかったです♥
シャワーみたいです

ちよつと
熱かったですけど♥

飲んじやつた…
これが
あの人の味…♥

おっ
おっ
おっ

アロ
アロ

あの…
これで終わりじゃ
ありませんよね？

えっ…？

お願いです
して…下さい
最後まで…♥

ギ
ギ

少し怖いけど
この人のものに
なりたいの…♥

サターンの気持ちは
うれしいけど
……僕は……

ほかの
セーラー戦士みたいに
人気ありませんし

やっぱり……
私じゃ
ダメですか……？

じゅ……

魅力……ないから

そんなっ！

僕にとっての
セーラー戦士は
サターンだけです……

この気持ち
分かってください！

かおっ……

（ア……）

憧れて…遠くから
見つめるだけだった
セーラーサターンに
触れられるなんて…

はあ…

さ…
最高ですっ！

はあ…

あんっ…♡

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

私…変なの
すごく…恥ずかしいのに
もつと見て欲しいなんて♡

可愛いですっ
この表情も
セーラースーツも…

はあ…

全部僕だけの
ものにしたい…！

はあ…

喜んで…捧げます
私のすべてを…♡

これが
本当の愛…

はあ…

はあ…



あつ…
うああつ…!

♡D7♡

うれしいですか??
……♡



これからは
セーラーサターンは
あなただけのもの…♡

♡D4♡



僕にも見せて…
サターンの
全てを…!

らやうー!

グ
イ
ッ



ん…っ♡
んむっ…♡

んっ…♡

♡D4♡
♡D4♡

♡D4♡

あ…すい…♡
きもち…♡

ミ
ク
ッ

どうしてですか？
こんなに
可愛いのに…

グイッ

グイッ

きやつ…！
やめて…っ
拡げないで…！

グイッ
グイッ

奥が濡れて
光ってますよ…

サタインの味…
美味しい…っ

グイッ

グイッ

あ…♡
私のも…おくちで
…っ♡

あ…ああんっ！
やめてえっ…！

きもちいらっ♡

お口が留守に
なってますよ…

セーラー戦士なのに
サタインも気持ち
いいんですね…？

あ…♡
すみません
私…っ！

身体の力…
抜いて下さいね

はい…

ひっ…ああつ!
い…いた…あつ!
あ…あああ!

ギョッ

ギョッ

くっ…
キツいっ…!

い…痛いですか?
セーラーサターン…

んっ…
やあつ…
ああつ…!

この人を
全部
受け入れたいの!

がんばらなきゃ

やめ…ないでっ!
そのまま
続けてえっ…

すみません…っ
でも僕…どうしても
憧れのサターンと…

んああつ♡

あん…それっ♡
きもちいいっ!



あ…あんっ♡
あ…あつ…!!

ズンズンズン

ズンズンズン

ひっ…
あ…あんっ…♡

は…挿入…
私の腔内…!

あ…んっ…♡



あ…ああつ
きもちいいですっ…!

サターンの腔内
すごく狭くて…っ

ズンズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

やわらかく
包んでくれていますっ
あ…っ…いいっ…!!

ズンズンズン

ズン

ズンズンズン

はあ…

…あ…んっ
あ…

はあ…

あ…んっ

んっ



あ…ああつ
ああんつ…♡♡

もつと奥まで
挿れてえ…♡

私の膣内で
きもちよくなつて
ください…♡

くつ…うおつ！
サターン…！！

あつ…今
見られてるのね…

ここに
いる
たくさんの
私に…♡

なんだか
変な…気分
に♡

あんっ♡

あっ♡

ズッ♡

み…見られて
ぞくぞく
するの…って…

私…
ヘンですか…？

はあんっ♡

フフツ…
サターンはそういうのが
好きなんですか？

ズ
メ
ッ

それじゃ…
たつぷりと
見てあげますね

あっ…！！

ほら…ここ
いっぱい
飲み込んで
ますよ…

はあ…

ぎゅっ♡

まるで…初めて
挿入れてもらえて
喜んでるみたいです

はあっ♡

はあ...
やっ...! 言わないでえ...
そんな...コト...っ♡

いやあんっ♡

ギョッ

トクッ
トクッ

本当だ...
すごく感じて
締まっていますよ...

はあ...
セーラーサターンは
恥ずかしいとこんな
感じてしまうんですね...

はあ...
あ...あんっ
いやあ...♡

スリッパ
スリッパ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

はあ...
それ...
やめてえっ♡

それじゃ...
恥ずかしい姿で
犯してあげますよ♡

ギョッ

さあ…おしりをよく見えるようにしてください

ズル…

ズル…

あんっ…♡

え…っ？
どう…ですか？

ひい…

違います…もっと高く上げて無防備に晒して下さい

最強の戦士サターンが僕の言いなりになるとは…益々興奮してきました…

はぁ…

はぁ…

私…

ズル…

ズル…

ズル…

ズル…

セーラー戦士なのに…服従してるの…

はぁ…

ズル…

サターンは
こんな所まで
可愛いですね

ひあつ！

グニョ...

ビクッ

小さくて...
キユツと
締まってる♡

恥ずかしすぎて...
おかしくなりそう...

すみません...少し
いじめ過ぎましたね

でも...
こっちはこんなに
喜んでますよ♡

ひっ...やあ...っ

ズンッ！

もう...ダメっ...
見ないで...!

や...あんっ♡

ううう...
ううう...

あああんっ♡

奥まで
ヌルヌルですよ？

ひっ…あんっ♡

は…あんっ♡
きもちいいっ♡

ズッ♡
ズッ♡

ああんっ♡

はあ…♡

こんな…私でも
本当に愛して
下さるんですか…？

あ…ダメっ♡
きもちよくて
腰が…止まらないっ♡

ズッ♡

ズッ♡

ズッ♡

ズッ♡

ズッ♡

セーラー戦士なのに
自ら上になって
快楽を貪る私を…！

はい…勿論ですっ!
憧れのセーラーサターンが
処女を捧げてくれて…

はぁっ

ズポッ

ズチュッ

ズチュッ

ズポッ

戦士の身体でこんな
僕を受け入れて
くれるなんて…!

はぁっ

サターンは僕だけの…
僕だけの最高の
セーラー戦士ですっ!

はぁっ

ズ

うれしい…ですっ♡

ズ

はぁっ

ズ

お願い…ですっ♡
もつと私で
きもちよくなつて
ください…ああっ♡

サターンの気持ち
よく分かりました…
任せてください♡

あ…あんっ♡
あ…あんっ♡



射精しますよっ♥
サタインの膈内に…
受け止めて…っ!

あなたの愛の証…私に
注ぎ込んでえ…♥

うああっ…
もう…イクっっ♥

射精してえっ♥



あ…あああっ
射精るうっ!

…あっ…♥

あ…射精てますよっ
サタ…の奥につっ！
あ…あああ…っ！

あ…ん…熱いっ
あ…あ…あ…っ！
あ…っ！
…

あ…ん…
あ…ん…

あ…ん…

あ…ん…

あ…ん…

はあ…

あ…

…
…
…

もう一度伺いますが…
セーラー戦士で一番
好きなのは誰ですか？

もちろん
セーラーサターンです！

ほかの
セーラー戦士に
興味は？

いや、
全くないですね！

ヒンマン…

よいしょ
…つと…

それじゃ…これは
廃棄して
いいですよ♥



あとがき

さて、如何でしたでしょうか。こんな私なんぞにも感想のメールを送って下さる方がそれ相応いらっしゃるのですが（ありがとうございます）その中の数人の方に「次回作はオタ部屋であんな事やこんな事」というリクエストを頂きまして…。オタ部屋と言われても何のことが始めはイメージが湧かなかったのですが、オタク+部屋=オタ部屋と言うことであるならばオタである私の学生の頃の部屋を思い出して描けばいいのでは？と今回描いてみた次第です。なにせ壁中天井中セーラー戦士のポスターだらけでしたし。まあセーラー戦士との結婚を目指すわたくしですから、いつかセーラー戦士が突然現れ私に告白するかもしれませぬしその時に備えてポスターを片時も目を逸らさずイメージトレーニングをするという日課を欠かさなかったわけです。今現在その努力が報われていないのが不思議なんです…。でももしセーラー戦士が存在していたら社会的にはどういう扱いになっていたのか、玩具などはどこの会社が作っているのか、妖魔が街を荒らしセーラー戦士が退治したら新聞はどう紙面で扱うのか、妖魔が壊した自動車や建物に保険が適用されるのか、現実と照らし合わせて考えるとかなり難しい問題になりそうなので深く考えず力を抜いて楽に読んでいただければ幸いです。オタ部屋に貼ってあるポスターなどは多分セーラー戦士マニアが戦闘シーンを遠くのビルからデジスコで撮影した写真ということにしておきましょう(笑) セーラー戦士が実在する世界に生まれたかった…。そしてセーラー戦士と結婚(以下略)

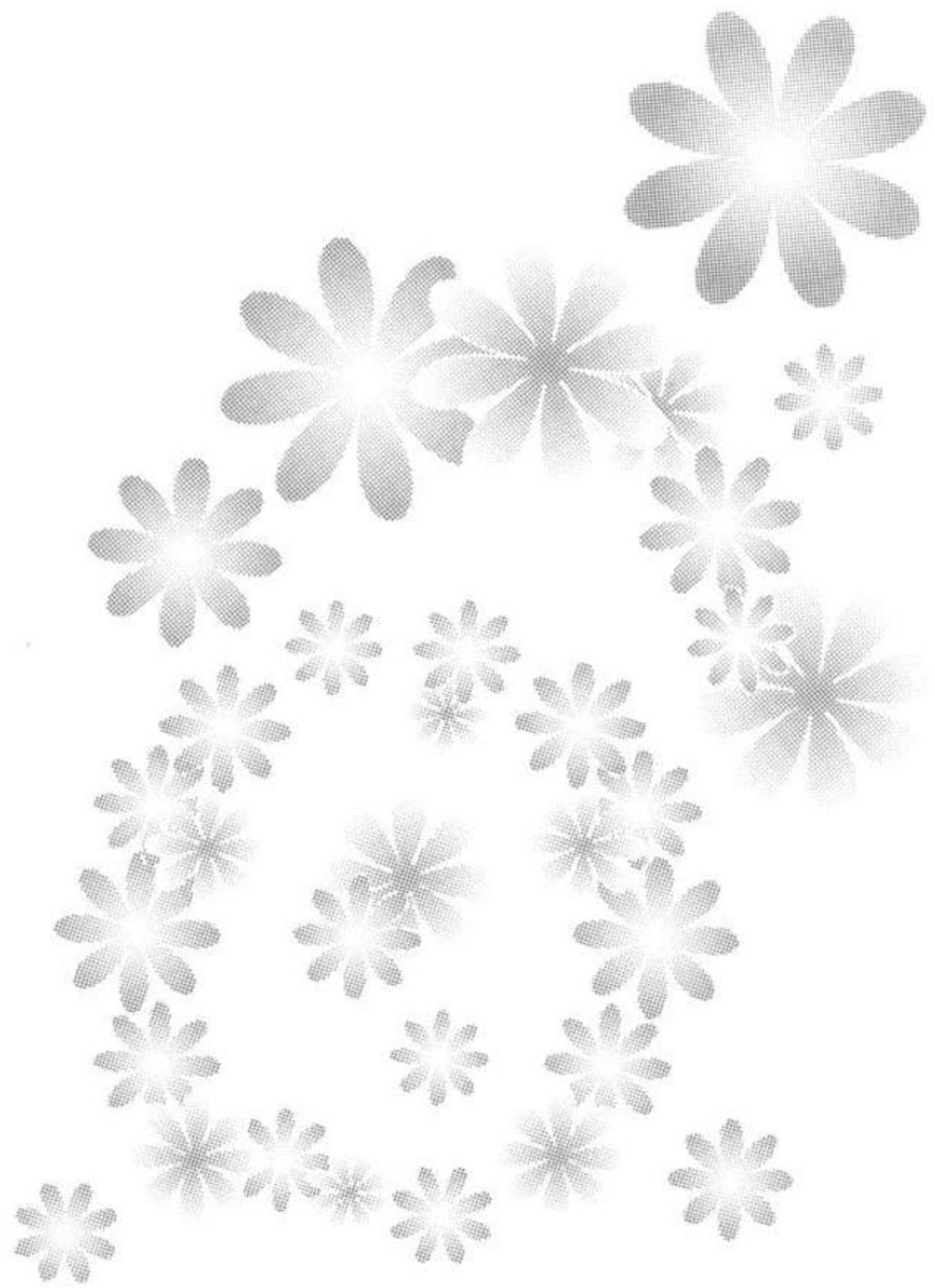
このオタクの主人公西寛二くん(仮名)はわたくしに勝るとも劣らないコスフェチな訳でして…。そこの所を遺憾なく発揮させようと最初はセーラーサターン自身に興味をそれほど示さずセーラースーツばかりを弄くり回すという並のオタとはひと味もふた味も違うコスオタっぷりを発揮していただきました。ブーツの臭いを嗅ぐとこなんて最高にきてます。変態だね西くんは。あ…俺もか…。せっかく西くんという名前を付けたのだからオタ主人公のしゃべりも関西弁にすれば良かったのでしょうか？

「えらいすんまへん。今ブーツの臭い嗅ぎますよってに。んん~この臭いがたまらん」
「このブーツ野郎！こんな所見たくなかったぜ西、ぶざまだな、みじめだな、ええ、おい！」
「わ…わいは…あかん…ダメな男や…」

寝なすぎて頭おかしくなってるな俺…。わいはだめな男や…。

本当は僕の彼女は~ネプチューン編を出そうと思っていたのですが、はるかさん以外の男とみちるさん自身の意志でゴニョゴニョ…という展開をどうやっても考えられなかった訳で…。いつかは出してみたいのですが私の頭では話が作れません…。

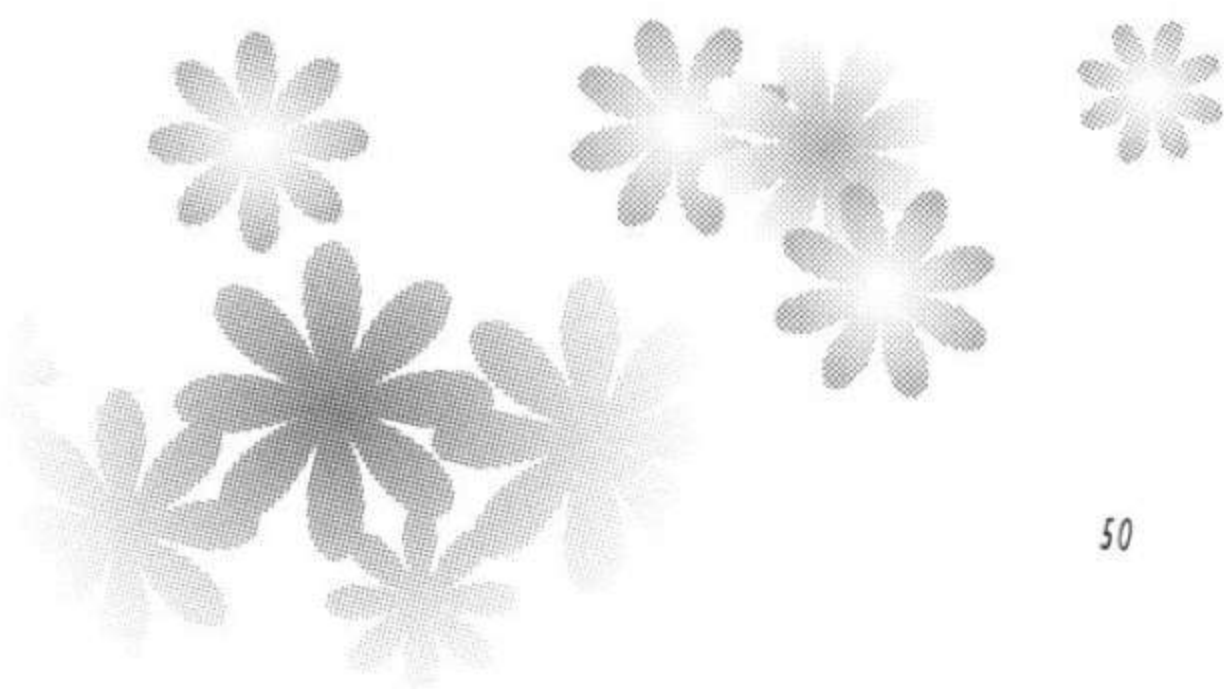
さてそんなこんなで今日のところはこの辺で。本当はもっと書きたいこともあるのですが、毎コミケごと新刊3冊づつ出してますと後書きで書くことがどんどん無くなっていきまして…。この辺でセーブいたします。それでは…。



僕の彼女はセーラー戦士

- 発行日 平成19年8月17日
- 発行元 小鳥事務所
- 連絡先 kotorijim@hotmail.com

※無断転載、無断複写を禁じます





For Adult